

経済指標ウォッチャー

米国CPI 8月はインフレ圧力がやや緩和

物流網の混乱や人材不足がいつ解消されるかが今後のカギ

消費者物価指数 (CPI) とは？

CPIとは消費者が実際に購入する段階の、輸送・食品・医療などの消費財やサービスの価格（物価）の変動を表す指数。CPIの項目、構成比、算出方法には国ごとに違いがある。米国では労働省が毎月中旬ごろに公表する。物価変動の基調をみるために価格変動の大きい項目を除いたコアCPIが重視されることが多い。米国ではCPIからエネルギーと食品を除いて、コアCPIが算出される。

(参考：日本ではCPIから食品を除いてコアCPIが算出される)

CPIは前年同月比5.3%上昇

14日に米労働省が公表した8月のCPIは前年同月比+5.3%と市場予想と一致し、前月の同+5.4%からやや低下しました。変動の大きいエネルギーと食品を除いたコアCPIは同+4.0%と前月から0.3%低下し、市場予想の同4.2%も下回りました(図表1)。

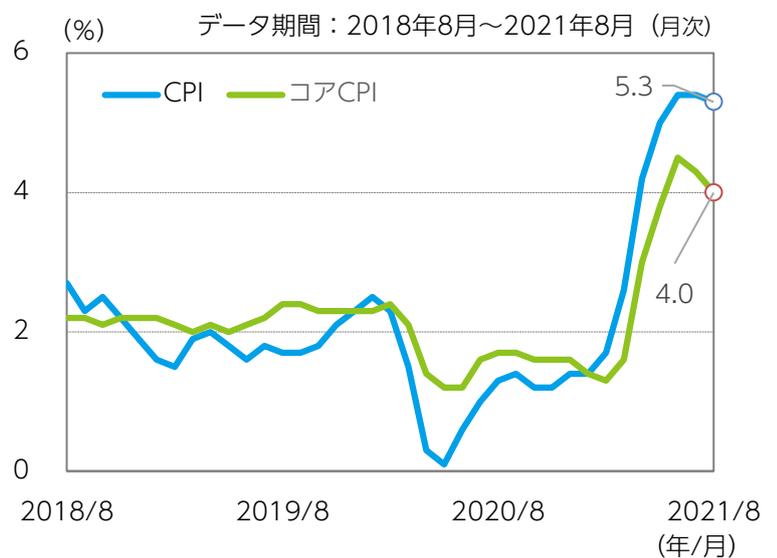
足元のCPI高騰の主因と言われる中古車、旅客運賃などが引き続き前年同月比で高い伸びとなっており、CPIは前月比では低下したものの、インフレ圧力は依然として高いことが示される結果となりました。

物流網混乱や人手不足解消が今後のカギ

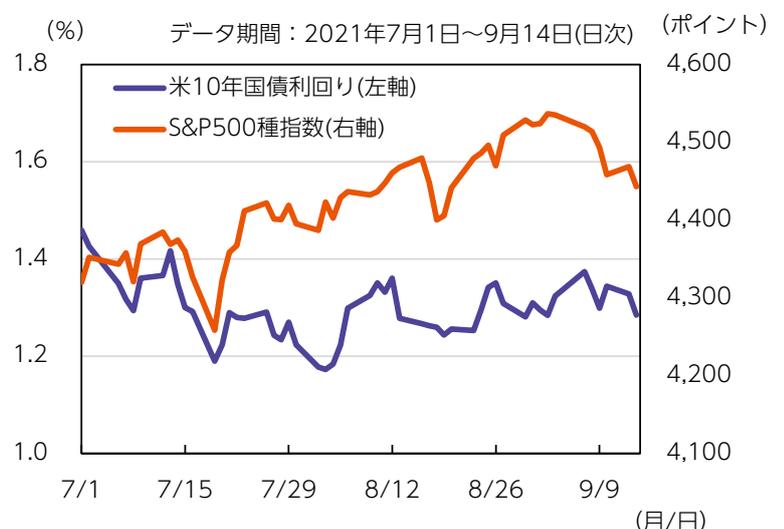
米国のCPIはFRB（米連邦準備制度理事会）が目標としている前年同月比+2%を大きく上回る水準が続いています。しかし、新型コロナウイルス感染再拡大の影響により前月比で旅客運賃や宿泊費が大幅に下落したことなどから、米長期金利は小幅に低下、株価は小幅に下落と、市場ではやや景気後退を懸念するような値動きとなりました(図表2)。

FRBは一貫してインフレ率の上昇は一時的であると説明しているものの、CPIは前年同月比で5%を超える上昇が続いていることから、市場ではその見方に疑問を呈する声も聞こえてきます。9月上旬に公表されたベージュブック(米地区連銀経済報告)では、今後販売価格が大幅に上昇するとの見方も報告されています。CPIが高止まりすれば、テーパリング(量的緩和縮小)開始のみならず利上げ圧力が高まる可能性も考えられます。供給面の制約となっている物流網の混乱や人材不足がいつ解消するかが、今後のCPIのカギを握るものと思われます。

図表1：米国のCPIとコアCPIの推移



図表2：米国の株価と長期金利の推移



出所) 図表1、2はブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>